

# 「生理の貧困」なくして!! 相次ぐアクションで 市政動かす!!

## 女性市議有志6名が 市長に要望書

コロナ禍の中で、これまで見過ごされてきた不安や困難をかかえている女性たちが増え、生理用品を買えない女性が増え「生理の貧困」として注目されています。

宇都宮市議会の日本共産党の3市議をはじめとする女性議員有志6名（日本共産党・福田くみ子・天谷みえ子・原ちづる、市民連合・福田智恵、緑・出井昌子、清風・茂木祐佳里の各市議 敬称略）が6月9日、佐藤市長と小堀教育長に対し、すべての小中学校のトイレへの生理用品の常備などを求める申し入れを行いました。



右から出井、天谷、佐藤市長、福田（久）、福田（智）、原、茂木の各氏

## 「宇都宮市つながりサポート事業」6月から開始

市が6月から行う宇都宮市つながりサポート事業は、生理用品の配布をきっかけに女性相談につなげようというもので、内閣府の「地域女性活躍交付金」を活用したものです。申し入れでは、この事業をもう一歩踏み込んで、小中学校のトイレに常備することを強く求めました。

生理を原因とした体調不良を我慢する、生理期間中に学校を休む、早退・遅刻など学校生活に支障があったというアンケート結果もあり、様々な家庭の事情を抱えた児童生徒の学校での学びを保障しようというものです。

## 生理用品の学校トイレへの常備、検討へ

6月議会では、男性議員も「生理の貧困」について取り上げ、小中学校のトイレに常備するための検討をするとの答弁を得ました。

こうした宇都宮市段階での相次ぐアクションに先立ち、5月24日には、県地方議員女性議員連盟が、福田知事と県教育長に同趣旨の要望を行い、共産党の野村せつ子県議等とともに福田くみ子市議も参加しました。

## ジェンダー格差解消への第1歩!

福田くみ子市議は「宇都宮市で、学校トイレへの常備が実現したのは、党派越えたアクションが様々なところで行われた結果です。生理のことをタブー視する時代は、終わりました。女性の生涯にわたる生殖と健康の問題としてとらえ、ジェンダー格差をなくす第1歩としたいと思います。」と、述べています。



久我伊二（92歳）さんからの寄稿をもとに、連載を企画しました。

久我さんは、長年日本共産党宇都宮後援会の会長を務められた方です。

## 私のレッド・パージ

### 1、朝鮮戦争の前夜

戦後は新しい憲法の下で平和民主の国づくりが進められるのかと思いきや、それを頓挫させたのが進駐軍マッカーサー司令部による対日政策の転換でした。四九年には下山、三鷹、松川事件など怪事件が発生、いずれも共産党の一味の仕業とされます。さらにGHQによる公職追放で党の国会議員は議席を奪われてしまいます。これが実は五〇年六月から四年間に亘りたたかわれた朝鮮戦争の前夜でした。（次号に続く）

## ほっとコーナー



「きりく」でない喜楽橋 鬼怒川はその名の如く時に暴れ川となり橋を壊したりします。東刑部町にあるこの喜楽橋も西側百メートルが流されて通行禁止に。川は上流で蛇行して橋とほぼ平行に流れています。欄干の無いこのような橋を潜水橋と言うのですが、上三川町にある東蓼沼橋の方は幸い無事でした。（K男）

日本共産党宇都宮市議員団 定例無料

## 市政・法律なんでも相談会

雇用問題・多重債務・生活保護・年金・国保・住宅道路・交通安全・その他なんでも・・・

◇日時 7月10日(土) 午後2～4時  
※8月の相談はお休みします。

◇会場 宇都宮市総合  
コミュニティーセンター

◇連絡先 日中 TEL632-2622 (党市議員団控室)  
土・日・夜間 TEL634-8722 (党市委員会)

相談ご希望の方はできる限り事前にご連絡をお願いします。秘密厳守します。弁護士が協力します。

※新型コロナウイルスの状況によっては、変更または中止となる場合もあります。必ず事前にお問い合わせ下さい。